

市町村名		浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-7 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	都市建設部	美らまち推進課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	観光地としての魅力向上や地域住民等が地元の歴史や文化に対する興味を深めるため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生を図る事業。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計		
	A. 予算現額	218,700	20,566	7,688	7,211	254,165		
	B. 執行済額	186,634	19,979	7,688	7,211	221,512		
	うち 交付金充当額	149,304	15,983	6,150	5,768	177,205		
	執行率(%) (B/A)	85.3%	97.1%	100.0%	100.0%	87.2%		
執行状況の説明	当初計画していた事業実施内容のほか、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	①風景づくり推進調査業務の完了	目標	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
		実績	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
	②補助(工事)完了 まちなみ景観を修景するための支援	目標	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
		実績	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
③地域景観資源を保全、活用、創造する自主 的なまちづくり活動団体等への支援	目標	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体		
	実績	3団体	3団体	2団体	2団体	2団体		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	①風景づくり推進調査業務の完了 景観地区等の計画策定業務(浦添前田駅周辺 土地区画整理事業地区)	目標	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	完了	完了	完了	完了	完了	
	②まちなみ景観を修景するための支援	目標	-	15件	33件	6件	8件	
		実績	7件	17件	27件	12件	2地区	
③地域の歴史や文化に対する興味があつた か(80%以上)を含め、参加者に対するアンケート により本事業のあり方を検証する。	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上		
	実績	80%	88%	100%	70%	90%		

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		5年度	6年度	7年度	8年度	13年度 目標/発現年度
	地域ごとの景観施策、景観まちづくり計画等の基準及びまちなみ景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成の推進につなげる	目標	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる
	実績	景観形成推進につなげた	-	-	-	-
	目標					
	実績					
状況説明	【R4年度】 ・地域ごとの景観施策及び景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことができた。					
	【R5年度】 ・地域ごとの景観施策について、規制・誘導を行い景観の推進を図るよう行為の届出等審査を実施する。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R4年度】 ・地域において、景観まちづくり計画等の基準を基に、景観の変容を確認できた。	【R4年度】 ・引き続き地域ごとの景観施策について、規制・誘導を行い景観の推進を図るよう行為の届出等審査を実施する。
【 年度】 ・	【 年度】 ・
【 年度】 ・	【 年度】 ・

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【R5年度】 ・HPを活用しながら、浦添市景観まちづくり計画内容を周知していく。
【 年度】 ・
【 年度】 ・

市町村名		浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	地域資源復元推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	教育部	文化財課	事業実施 年度	平成 24 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進し歴史・文化の継承を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの環境整備や民俗文化財の説明板の設置を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	合計		
	A. 予算現額	161,316	1,800	11,626	17,280	192,022		
	B. 執行済額	149,022	1,733	10,652	13,438	174,845		
	うち 交付金充当額	119,118	1,390	8,521	10,750	139,779		
	執行率(%) (B/A)	92.4%	96.3%	91.6%	77.8%	91.1%		
執行状況の説明	琉球王朝時代の宿道、中頭方西海道ルートの石畳舗装約680m、地域の歴史資源である安波茶樋川、クバサー→御嶽、仲間地区の地頭火ノ神を整備し、説明板及び看板を合計9カ所設置した。設計及び施工における見直しや入札差金等もあり当初事業費の91%を執行している。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	尚寧王の道を訪ねる 地域散策		目標	—	215人	234人	253人	272人
			実績	162人	50人	123人	99人	132人
			目標					
			実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H24年度～ H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	中頭方西海道ルート石畳舗装工事 看板、説明版の設置		目標	実施設計の完了・工事実施460m	工事実施130m、説明版1基			実施設計の完了・工事実施90m
			実績	設計・工事の完了 看板8基設置	工事の完了 説明版設置			設計・工事の完了
	安波茶樋川復元整備工事 クバサーの御嶽復元整備工事		目標	用地買収 物件保証 設計・施工				
			実績	用地買収 物件保証 設計・施工				
仲間火ノ神復元整備工事		目標		実施設計	整備工事			
		実績		実施設計完了	整備工事完成			

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 目標/発現年度
	中頭方西海道の歴史の道及びその周辺文化財を活用したイベント等の参加人数	目標	215人	234人	253人	272人	310
		実績	50人	123人	99人	132人	230人
	中頭方西海道を活用したイベントへの参加人数	目標					290
実績						230人	
状況説明	【令和4年度】 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を図るため、募集人数等を制限し実施した。目標値の79%の達成率						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和4年度】 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を図るため、地域資源を活用したイベントの募集人数を縮小したことから、目標人数を達成することは困難であった。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じるとともに、沖縄県と連携して「美ら島おきなわ文化祭2022」事業として公式ガイドブックに掲載したことにより、親子での参加者が半数を占め、例年より多い230人の参加があった。			【令和4年度】 ・「歴史の道」を構成する地域資源や、地域に所在する市指定文化財等から展開されるイベントの開催について検討を行う。 ・ウォーキングイベント等における地域資源の活用について調整を行う。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和5年度】 ・琉球王朝時代の宿道である中頭方西海道等の「歴史の道」を軸として、地域に所在する歴史・観光資源である市指定文化財等への展開を図るイベントの実施や、ウォーキングイベント等の関連事業との連携に取り組むことにより、地域住民の地域に対する愛着や誇りを育て歴史・文化の継承を図るとともに、観光面での回遊性向上等に取り組む観光事業担当課との連携により地域の活性化を図る。							

市町村名

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	里道及び水路の境界確定復元事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ 戦後処理問題の解決	
	担当部課名	都市建設部	道路課		事業実施 年度	平成 24 ~ 令和 3 年度

事業内容

土地境界が未確定な里道・水路の用地測量を実施し、境界の復元・隣接地権者との立会を行い境界を確定する。  
境界が確定した里道・水路の土地表示登記を行う。

実施方法

直接実施  委託  補助  負担  その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額	781,902	98,510	82,000	52,000	1,014,412
	B. 執行済額	781,902	98,510	82,000	52,000	1,014,412
	うち 交付金充当額	625,477	78,808	65,600	41,600	811,485
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
執行状況の説明	里道及び水路の表示登記を実施した					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記	目標	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施
		実績	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施	表示登記実施
		目標					
		実績					
		目標					
実績							

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	登記済延長率:100%	目標	48%	74%	85%	93%	100%
		実績	48%	74%	85%	93%	100%
		目標					
		実績					
		目標					
実績							

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R4年度 目標/発現年度
公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	目標	施策の実施につinaげる。				
	実績	施策の実施には至ってない。				
	目標					
	実績					

状況説明

【R4年度】  
・公共用地への越境物について、対応方針を検討中

【 年度】  
・

【 年度】  
・

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R4年度】 ・境界確認を行ったことにより、民地と公共用地の境界が明確になり公共用地の確保につながった。  【 年度】 ・  【 年度】 ・	【R4年度】 ・公共用地への越境物について、対応方針を検討中  【 年度】 ・  【 年度】 ・
---	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【R5年度】  
 ・公共用地への越境物について、対応方針を検討する。

【 年度】  
 ・

【 年度】  
 ・

市町村名	浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添市特定駐留軍用地等内土地取得事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-(ア) 早期の事業着手に向けた取組	
担当部課名	西部開発局	跡地未来課	事業実施 年度	平成 27	令和 4	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-8	
事業内容	<p>駐留軍用地返還後の円滑な土地利用の推進を目指し、将来の公園・緑地等の公共用地先行取得を行う。本事業はその先行取得の為に基金を造成するものである。</p> <p>※令和4年度に事業名称変更。旧事業名「牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業」</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	11,808,759	849,175	550,000	1,633,805	14,841,739	
	B. 執行済額	11,808,759	849,175	550,000	1,633,805	14,841,739	
	うち 交付金充当額	9,447,007	679,340	440,000	1,307,044	11,873,391	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
執行状況の説明	<p>先行取得目標面積174,000㎡に対し、累計取得面積は173,757㎡となった。  ※取得率99.86%≒100%</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立	目標	積立	積立	積立	積立	積立
		実績	積立	積立	積立	積立	積立
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	特定事業の用に供する土地取得面積 ※先行取得目標面積(174,000㎡)	目標	33,000㎡	37,000㎡	0㎡	42,000㎡	4,589㎡
		実績	31,452㎡	27,773㎡	1,853㎡	38,030㎡	4,346㎡
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R13年度 目標/発現年度
	特定事業の見通しの変更を行い、基金積立事業の継続を目標とする。(17.4ha → 30.0ha)	目標	積立	積立	積立	積立
	実績	積立	積立	積立	積立	積立
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【R4年度】 ・沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法第13条に基づく土地の先行取得事業のための基金積立を実施し、目標面積17.40haに対して、17.38ha(99.86%≒100%)の土地を取得した。</p> <p>【R5年度以降】 ・沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法第13条に基づく土地の先行取得事業を継続する。その為、本事業において駐留軍用地返還後の円滑な土地利用の推進を目指し、公共用地先行取得の基金造成をする。</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先行取得目標面積17.40haに対し17.38ha(99.86%≒100%)を取得済。</li> <li>・先行取得目標面積を30.00haに拡大し、引き続き返還後の円滑な跡地利用を目指す。</li> <li>・買取申出の総面積が年々減少傾向にあるため、対策を講じる必要がある。</li> </ul> <p>【 年度】</p>	<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軍用地内の土地属性分析を行い、小規模な土地の優先する等、戦略的な先行取得を検討する。</li> <li>・民間における取引事例は増加傾向にあることから、このような売却意志を有する地権者に対し、効果的にアプローチし、跡地利用計画への理解を促すような広報活動を推進する。</li> </ul> <p>【 年度】</p>

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R5年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な跡地利用の推進の観点から、崖地や小規模土地の地権者を優先するなど戦略的な先行取得を検討する。</li> <li>・売却意志を有する地権者に対して、効果的なアプローチを検証し、広報活動を推進する。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>
--